

部課室名	農林水産部農林水産局 農地整備課農村環境整 備室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農村環境整備室長 鈴木宏一 (新見 明)	内線	4027 (4028)
------	--------------------------------	---------------------	----------------------------	----	----------------

事業種目	農業集落排水	事業名	事業区間	総事業費	
		農業集落排水事業	印東地区(緊急)	340 百万円	
所在地				着工予定 年	完成予定 年
加古郡稲美町上場、中場、十七丁				13	16
事業の目的			事業内容		
生活排水99%大作戦の一環として実施しており、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水、汚泥を処理する施設の整備を行う。			事業主体 稲美町 計画人口 1,100 人 計画戸数 275 戸 汚水処理施設 1 式		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	農業用排水の水質汚濁による農業被害、悪臭等が発生しており、生活排水対策が急務となっている。 都市部と比べ立ち遅れている農村の生活基盤整備であり、水洗化による生活快適性向上に加え、定住化の促進、都市との交流促進等、地域の活性化に繋がることから、地元要望が高い。 稲美町生活排水処理計画に位置付けられ、生活排水99%大作戦の一環として、計画的に実施するものである。				
(2)有効性・効率性	事業実施後には、農業用排水の水質改善による農業被害解消、住居快適性向上、農村空間快適性向上、衛生水準向上、公共用水域の水質保全等の効果が発生する。 投資効率(B/C)は、1.88であり事業効果が十分に期待できる。 同意率100%(275/275戸) 本事業の選択は、生活排水処理計画に基づいており、経済性・事業効果、地理的・社会的条件、水質保全性等について隣接する加古川下流流域下水道及び個別合併浄化槽と比較検討するなど、総合的に検討されている。				
(3)環境適合性	処理施設は、水質汚濁防止法、窒素及び磷に係る削減指導要領等の排水基準に基づく処理性能を有した処理方式を用いる。				
(4)優先性	稲美町は、8箇所の農業集落排水施設を計画しており、生活排水99%大作戦の2004年目標達成に向け計画的に整備するものである。				
評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		